

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次・通年・A 群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科
ドイツ語 (Deutsch)	担当教員	保坂直之 (Hosaka, Naoyuki)
	教員室	図書館 2 階 (tel 42 - 9064)
	E-Mail	hosaka@kagoshima-ct.ac.jp
	教育形態 / 単位数	講義 / 学修単位 [講義] ・ 2 単位
週あたりの学習時間と回数	〔 授業 (100 分) + 自学自習 (80 分) 〕 × 30 回	
<p>〔 本科目の目標 〕 ビデオドラマを見てその台詞から日常会話でよく使う表現を取り上げ、口頭練習・聞き取り・書き取りなどの作業を通して、簡単なコミュニケーションが可能な実践的な語学力を養う。また、ドイツ・ヨーロッパの文化やものの見方に触れさせ、さまざまな異文化を受け入れることのできる多角的な視野を身につけさせる。主たる教材は日・独の戦後高度経済成長期に作られたものであり、生きた歴史資料によって戦後の現代史を自然に学ぶことも目指す。(初級ドイツ語後半)</p>		
<p>〔 本科目の位置付け 〕 4 年次に学習した初級ドイツ語の入門的知識は必要。聞き取りや発話の演習を中心にして、体系文法の機械的学習ではないコミュニケーション中心の学習となる。</p>		
<p>〔 学習上の留意点 〕 授業はドイツ語のみで行う時間を増やす (約 50 ~ 60%)。日本語を使わずに外国語を使うという感覚を味わってほしい。文法の説明や、授業で随時導入される音楽、映画、新聞、雑誌、テレビニュース等についての意見交換などでは日本語を使用する。授業内容をよく理解するためには、テキストの音読や読解のテキストなどの課題学習を含む復習、小テストへの準備などが必要である。</p>		
〔 授業の内容 〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1.A.Guten Tag, F-5 : 1.B.文法 : zu 不定詞 1.C.講読練習 (前期中間試験)	14 2	*zu 不定詞、3 人称、動詞 nehmen, suchen の用法、副詞の用法を理解し、使うことができる。 *部屋を探す表現が言える、理解できる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目 1 について達成度を確認する)
2.A.Guten Tag, F-6 2.B.文法 : 話法の助動詞(1)、前置詞、不規則変化動詞、所有冠詞 2.C.講読練習 (前期期末試験)	14	*願望の表現、方向を現す前置詞・副詞、動詞の不規則な人称変化、所有冠詞について理解し、使うことができる。 *日欧の大学制度の違いを理解した上で、大学生活でよく使う表現が言える、理解できる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目 2 について達成度を確認する)
3.A.Guten Tag, F-7 3.B.文法 : 話法の助動詞(2) 3.C.講読練習 (後期中間試験)	14 2	*道順の尋ねたり、教えたりすることができる。 *非人称主語 es、話法の助動詞を理解し、使うことができる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる (授業項目 3 について達成度を確認する)
4.A.Hallo München 他 4.B.文法 : 過去・現在完了、分離動詞 4.C.講読練習 (後期期末試験) (試験答案の返却・解説)	10 4	*動詞の 3 基本形を理解し、過去・現在完了の文を作ることが出来る、また理解することができる。 *分離動詞の使い方を理解し、使うことが出来る、また理解することができる。 *時制の違いに気をつけながら講読練習が出来る。 (授業項目 4 について達成度を確認する) (各試験において、間違った部分を理解できる)
<p>〔 教科書 〕 Guten Tag, Goethe Institut, Langenscheidt (プリントで配布) 『 ドイツ文法 100 語の世界 』 (清水薫著) 同学社 〔 参考書・補助教材 〕 『 アポロン独和辞典 』 同学社</p>		
〔 成績評価の基準 〕 定期試験 (65%) + 小テスト等 (30%) + 課題点 (5%) (- 授業態度 (10%))		
<p>〔 本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連 〕 2-c、4-b 〔 教育プログラムの学習・教育目標との関連 〕 2-3、4-3 〔 JABEE との関連 〕 (a) (f)</p>		